

第4期 農地利用最適化推進委員応募・推薦名簿

石農委公示第6号

石垣市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者推薦及び応募の状況について

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第19条第2項及び同法施行規則（昭和26年農林水産省令第23号）第12条第1項の規定により、次のとおり公表する。

令和8年7月15日

農業委員長 砂川 拓也

No.	推薦・応募	氏名	性別	職業	備考	応募の理由
1	応募	池原 吉剋	男	農業	さとうきび 6ha 農業従事日数300日	私は石垣市において約五十年にわたり、さとうきび栽培に従事し、地域の気候・土壌の特性を踏まえたた農地管理と安定的な営農に努めてまいりました。 また、これまで農業委員としての職務を経験し、農地の適正利用に関する審査、相談対応、地域の課題把握等に携わってまいりました。現場の実情を踏まえつつ、公平・中立の立場を堅持し、地域農業の健全な発展に寄与してきたものと自負しております。 さらに、多面的機能支払活動においては地区代表として、農道・水路の維持管理、共同作業の調整等を担い、地域農地の保全に主体的に取り組んでおります。加えて、石垣島土地改良区の理事を四十年間務め、農業基盤整備や水利管理に深く関わってきたことで、地域農業の現状と課題に精通しております。 これらの経験を通じて培った知識と実務能力を生かし、今後も農業委員として農地の適正利用の推進、地域農業の振興、そして次世代への継承に尽力する所存です。 地域の声に真摯に耳を傾け、石垣市農業の未来に貢献できるよう誠実に職務を遂行してまいります。
2	応募	岡村 康	男	農業	営農年数：7年（研修期間含む） 島らっきょう他 35a さとうきび 39a 農業従事日数300日	農業委員として1期目を務める中で、「石垣市島らっきょうの会」の設立や新規就農者の支援や知人や地域の方々の農地問題の対応を行ってまいりました。これまでに得た知識と経験を次期委員に引き継ぎ、また今後も委員として支援や対応を継続し、石垣市農業委員会の強化と地域農業の発展に清したいと考えております。 また、開発が活発な石垣市において、農地保全と地域発展のバランスを適切に判断し、持続可能な農業の振興に貢献したいと考えて応募いたします。
3	応募	瀬戸 健也	男	会社役員	現職 農業経営経験なし	3年間、農地利用最適化推進委員として働かせて頂きました。農業に関することが全く分からず、とても躊躇しました。3年間の間で、農業の大変さ大切さがとても身に染みて分かるようになりました。手探りの中、どうにか業務をこなすことが出来たと思っています。これからは、農業後継者の育成、スマート農業の推進、観光と農業のマッチング等、数ある諸問題解決に努力したいと思っています。農業の発展が島の経済活性化に繋がるものと思っています。